



2021年11月4日

各 位

会社名 加賀電子株式会社
 代表者名 代表取締役社長 門 良一
 (コード番号：8154 東証第1部)
 問合せ先 常務取締役管理本部長 川村 英治
 TEL 03-5657-0111

通期業績予想および配当予想の修正ならびに剰余金の配当に関するお知らせ

当社は、最近の業績動向を踏まえ、2021年5月13日に公表いたしました2022年3月期通期連結業績予想および配当予想を修正するとともに、2021年11月4日開催の取締役会において、2021年9月30日を基準日とする剰余金の配当を決議しましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

2022年3月期 通期連結業績予想数値の修正 (2021年4月1日～2022年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A) (2021年5月13日発表)	470,000	13,000	12,000	8,000	291.20
今回修正予想 (B)	470,000	15,000	14,500	9,000	336.84
増減額 (B - A)	-	2,000	2,500	1,000	-
増減率 (%)	-	15.4	20.8	12.5	-
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	422,365	11,467	11,241	11,399	415.07

<業績修正の理由>

2022年3月期第2四半期は、電子部品事業において車載向けや医療機器、産業機械などを中心に販売が回復し、利益面では売上増加および売上総利益率の改善にともなう売上総利益の増加に加え、テレワークやオンライン会議などを活用促進し経費の縮減・抑制に努めた結果、当初計画を上回る着地となりました。

通期業績予想につきましては、売上高は半導体や電子部品の需給逼迫の状況を勘案し前回予想を据え置きました。一方、営業利益は、上期における順調な業績進捗を踏まえ上振れ分を織り込むとともに、下期は一定の下振れリスクを勘案し、前回予想から20億円増の150億円に上方修正いたしました。これにともない経常利益および親会社株主に帰属する当期純利益も、それぞれ145億円、90億円に上方修正いたしました。

(注) 上記の業績予想につきましては、当社が発表日現在において入手可能な情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

2. 配当について

(1) 配当予想の修正

	年間配当金		
	第2四半期末	期末	合計
前回発表予想 (2021年5月13日発表)	円 銭 40.00	円 銭 40.00	円 銭 80.00
今回修正予想		45.00 (普通配当 40.00) (特別配当 5.00)	90.00 (普通配当 80.00) (特別配当 10.00)
当期実績	45.00 (普通配当 40.00) (特別配当 5.00)		
(ご参考)前期実績 (2021年3月期)	30.00 (普通配当 30.00)	50.00 (普通配当 30.00) (特別配当 20.00)	80.00 (普通配当 60.00) (特別配当 20.00)

(2) 剰余金の配当 (中間配当)

	決 定 額	直近の配当予想 (2021年5月13日発表)	前期実績 (2021年3月期)
基準日	2021年9月30日	同 左	2020年9月30日
1株当たり配当金	円 銭 45.00 (普通配当 40.00) (特別配当 5.00)	円 銭 40.00	円 銭 30.00 (普通配当 30.00)
配当金総額	1,180百万円	—	823百万円
効力発生日	2021年12月3日	—	2020年12月4日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

<配当予想の修正および剰余金の配当の理由>

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営上重要な施策の一つとして位置づけ、長期的視点に立った財務体質と経営基盤の強化に努めるとともに、連結業績に鑑みながら株主の皆様に対する安定的かつ継続的な配当の維持を基本方針としております。

上述のとおり、2022年3月期通期連結業績の利益計画において前回予想を上回る見通しとなりましたので、中間配当につきましては、前回予想の1株当たり40円に特別配当金5円を加えまして、1株当たり45円とし、期末配当につきましても、特別配当金5円を加えまして、1株当たり45円にそれぞれ増額修正いたします。

これにより、年間配当金は前期実績から10円増配の1株当たり90円となります。

以 上